

## 議会報告会報告書

1. 開催地区名 北浦地区
2. 開催日時 令和5年5月27日(土) 13時30分から15時40分まで
3. 出席議員 畠山 富勝(代表者) 笹川 圭光(職務代理者)  
古仲 清尚 蓬田 司 鈴木 元章
4. 参加者数 22名

### 5. 意見・要望等

#### (1) 議会に対する事項

- ① 少子高齢化の著しい進行により、集落の火が消えてしまうのではないかと非常に危惧しているところであるが、議会としては、今後の在り方や理想をどう掲げて推進していこうとしているのか。また、地域コミュニティの仕組みづくりや活動を通じた北部地区の打開策について、議会として考えを持ち合わせているか。
- ② 戸賀、入道崎地区には議員がいない。各地域の声を平等に吸い上げるため、議員報酬を下げてでも議員数を増やすべきという声があることも承知いただきたい。
- ③ 現在通行することができないお山かけルートของキントリ坂について、議会と当局が一体となり、まずは開放してもらえよう森林管理署に働きかけていただきたい。また、航空自衛隊加茂分屯基地レーダーサイト付近の三角点についても、登山者に開放できるよう関係各所へ働きかけていただきたい。

#### (2) 市政に対する事項

- ① 滞在型観光へ向けた男鹿温泉郷の受入環境の整備については、以前からの懸案事項ではあるが、改めて改善を要望する。
- ② 例えば入道崎地区に水族館分館や県水産振興センター分館、歴史館を整備す

るなどの観光開発を行い、北部地区に何らかの手を打っていただきたい。また、由緒ある建物である秋田銀行北浦支店の活用方法を検討いただきたい。

- ③ 公民館機能を充実させるとしている北浦コミュニティセンターについて、北陽小学校統廃合後の校舎活用策や、地域の地場産業を発展させることも可能な拠点施設にもできると考えているが、構想を示していただきたい。
- ④ 老人クラブの会員が各種行事や大会等に参加するための足が確保できないため、参加者が減少してきている。福祉バスを再度購入することは難しいにしても、条件を付さず交通費を補助することを検討していただきたい。また、老人クラブに対する補助金はあるものの、各種実施計画書や実績報告書の作成ができる会員がいない。自治体によっては各地域に事務補助員を配置している事例もあるため検討していただきたい。
- ⑤ 男鹿海洋高校に入学を志望した県外在住の女子生徒が、女子寮や下宿先等の受入体制が整わないとの事由により断念したとの話を伺ったが、把握しているか。
- ⑥ みなと市民病院の予約変更手続で、本人が直接窓口に向わなければ予約を変更することができないことを改善できないものか。また、夜間に救急搬送され、病状が安定した患者であっても、せめて翌日までは入院させて病状の変化を確認したほうがいいのではないか。
- ⑦ 五里合、戸賀、加茂、入道崎地区の各診療所について、同じ医師を固定して配置するのではなく、ローテーションにできないものか。
- ⑧ オガーレは男鹿観光の玄関口として非常に重要な施設であるが、特に最近魚介類の価格が高いように感じているが、実態はどうか。
- ⑨ 防災行政無線の聞き取りづらい地区の対策については、継続的に要望はしているものの依然として改善されない。
- ⑩ なまはげ大橋で車を停車させ、棚田を撮影している観光客が多く、非常に危険である。歩道を整備できないのであれば、周辺にある減反地に駐車場を整備するなど安全対策を施していただきたい。
- ⑪ 現在通行することができないお山かけルートのカントリ坂について、議会と当局が一体となり、まずは開放してもらえよう森林管理署に働きかけていただきたい。また、航空自衛隊加茂分屯基地レーダーサイト付近の三角点についても、登山者に開放できるよう関係各所へ働きかけていただきたい。
- ⑫ 相川地区周辺のバス路線及び男鹿駅伝競走大会時のコースにもなっている県

道入道崎寒風山線について、道路舗装がつぎはぎな状態であるため道路整備を実施していただきたい。

⑬ 廃校となった鹿山小学校や北磯小学校の備品等を整理・展示していただきたい。

⑭ 今後の学校統合により、北部地区から船川地区へスクールバスで通学する場合、通学時間が非常に長くなり、小学校低学年児の子どもについては体力的に厳しいものがあると思われる。

## 6. 特記事項

### ■協議等が必要な事項

#### (1) 議会に対する事項

なし

#### (2) 市政に対する事項

5. (2)のうち、②、③、④、⑥、⑦、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬の事項について